

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

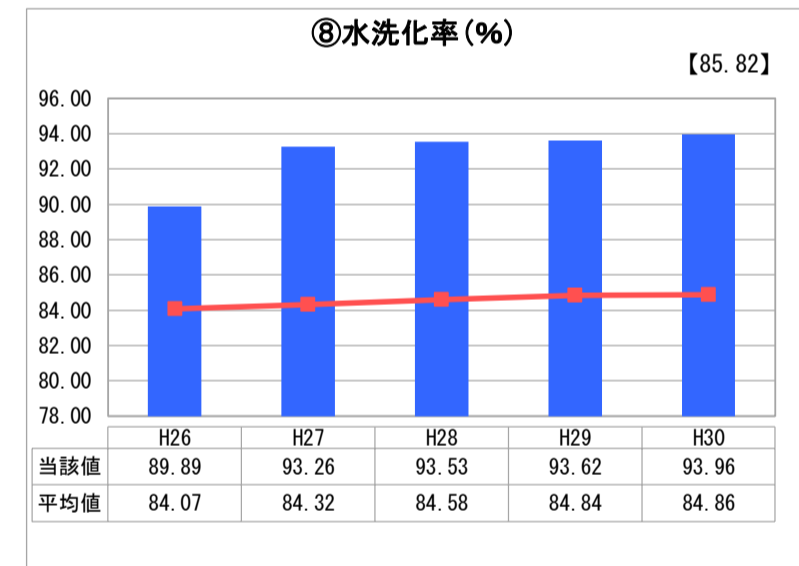
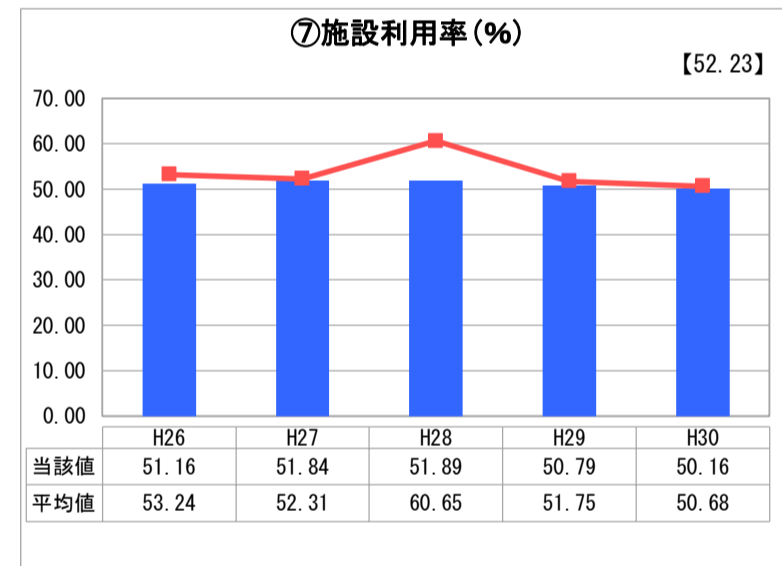
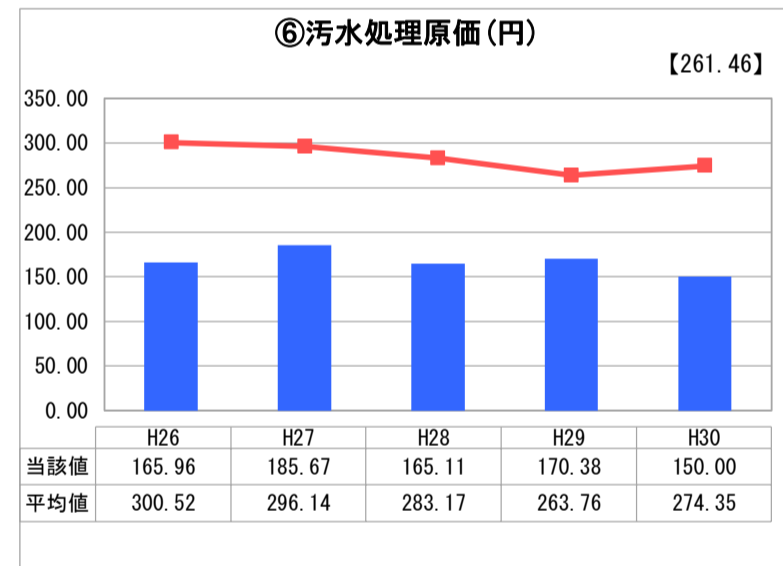
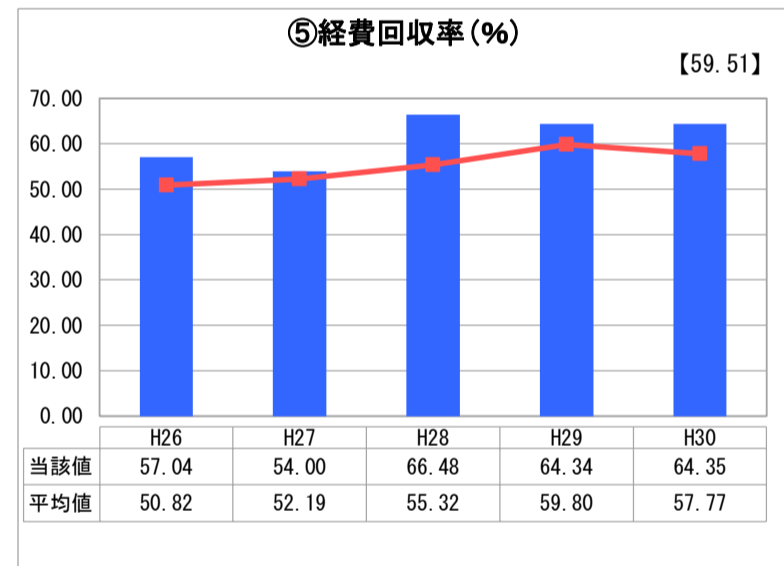
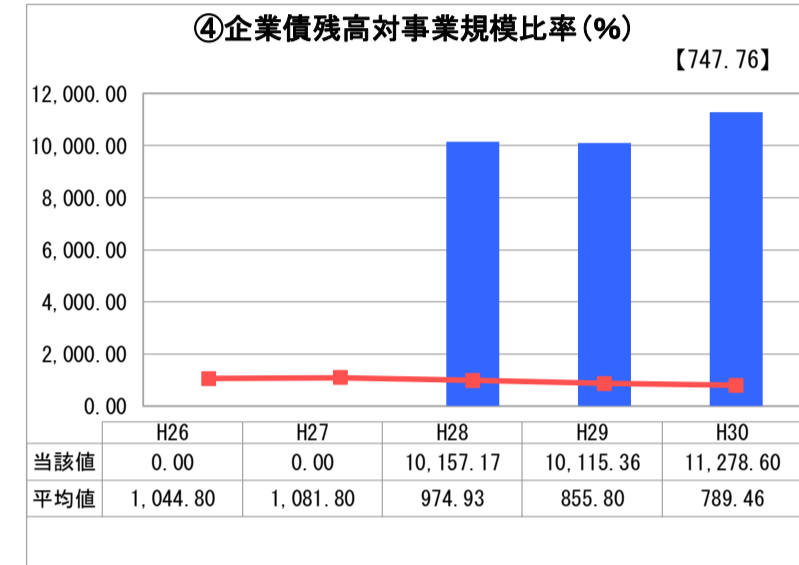
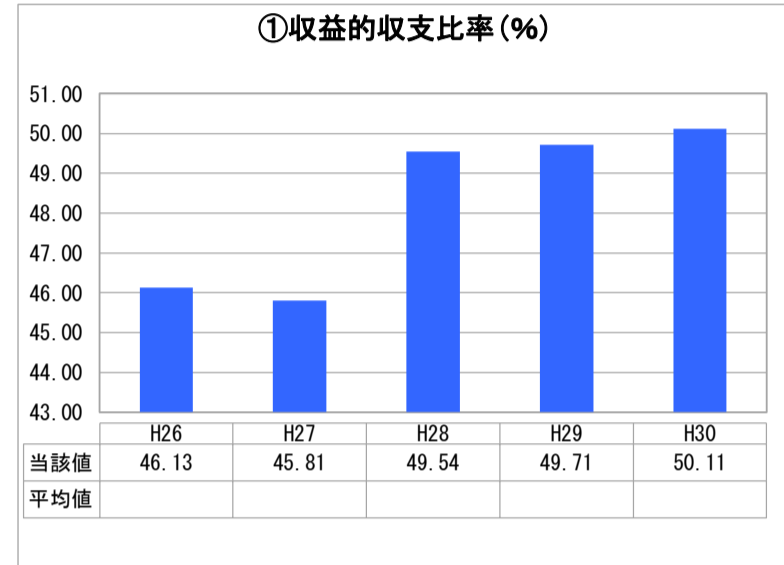
兵庫県 稲美町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	14.61	91.00	1,970

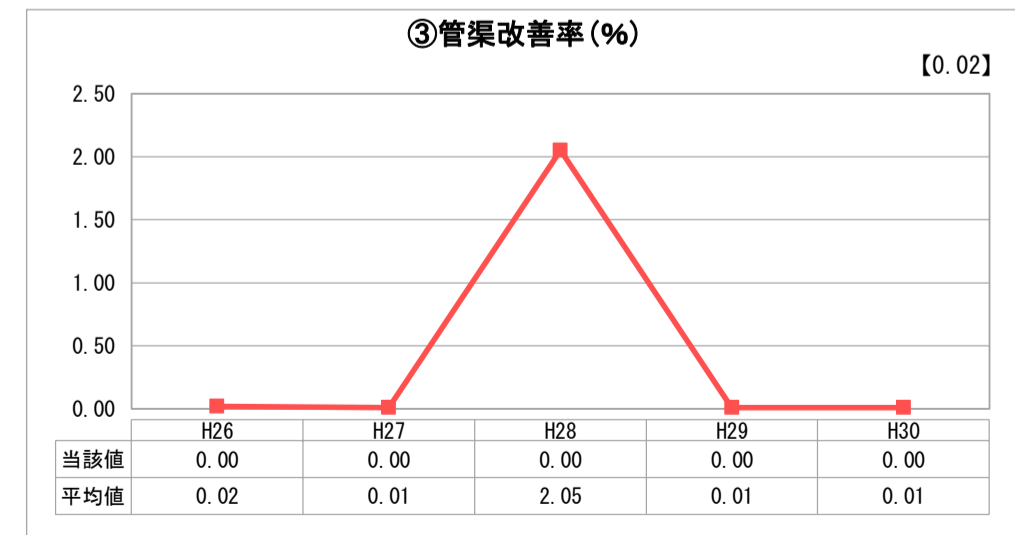
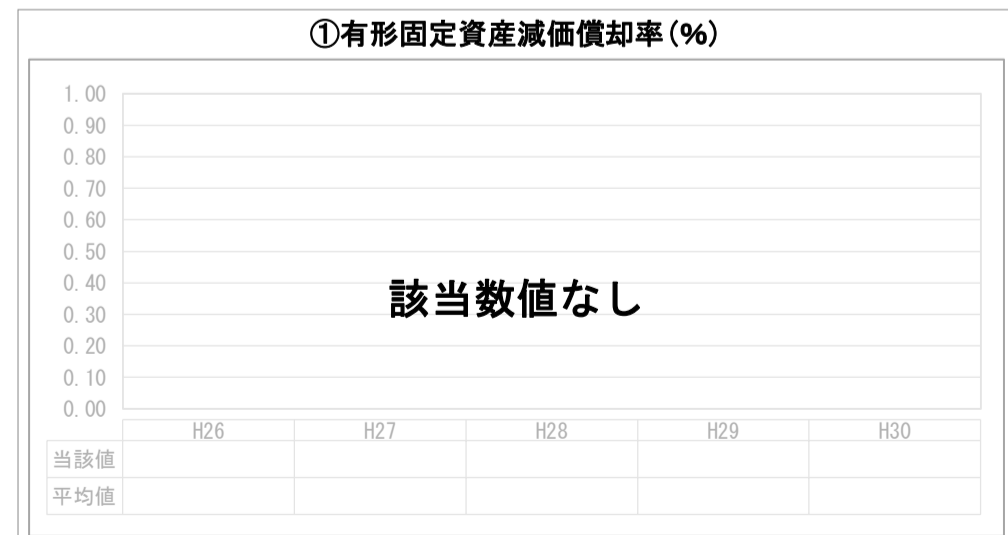
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
31,142	34.92	891.81
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
4,550	1.17	3,888.89

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率及び⑤経費回収率については、平成28年度から使用料収入が増加したことにより、平成28年度と同程度の比率を保っています。しかし、今後施設の維持管理費用や、機器類等の更新に要した企業債の償還費用の増加が見込まれるため、収支状況が悪化するおそれがあります。そのためさらなる経費節減に努めつつ、使用料の安定収入を図る必要があると考えられます。

④企業債残高対事業規模比率については、企業債現在高に対する一般会計負担額を見直した結果、平成28年度から数値が上昇しています。今後、公営企業会計適用(令和元年度)に伴い一般会計負担額の検討を行います。

⑧水洗化率が約94%と高水準である一方、⑦施設利用率は、類似団体と同程度となっていることから、施設の高効率化が検討課題となっています。

⑥汚水処理原価については、類似団体比較において低くなっていますが、今後大幅な有収水量の増加が見込まれないことから、汚水処理費が高くなること予想されます。

### 2. 老朽化の状況について

既設管渠及び施設、機器類に関しては、必要に応じて、清掃作業並びに躯体補強等により維持管理をしながら継続して使用していく方針です。

## 全体総括

施設の維持管理や汚水処理の費用、一般会計からの繰入金で賄っている施設建設のための企業債の償還金が年々増加していることに加えて、使用料による収入も大幅な増加が見込まれないため、引き続き経費節減と効率化に取組み、将来にわたって農業集落排水事業の円滑な運営を図り、衛生的で快適な生活を維持していくため、使用料の改定を検討するとともに、公営企業会計適用やストックマネジメント策定により、農業集落排水事業の健全経営を目指します。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。